

《層序表》

時代	地層名	記号	主な土質
現世	埋土層	B1	・ガラ、礫、レンガ片など混入する砂質土
		B2	・土丹くずを多量に混入する粘性土
更新世	上総層群 固結シルト層	Kz	・固結シルト

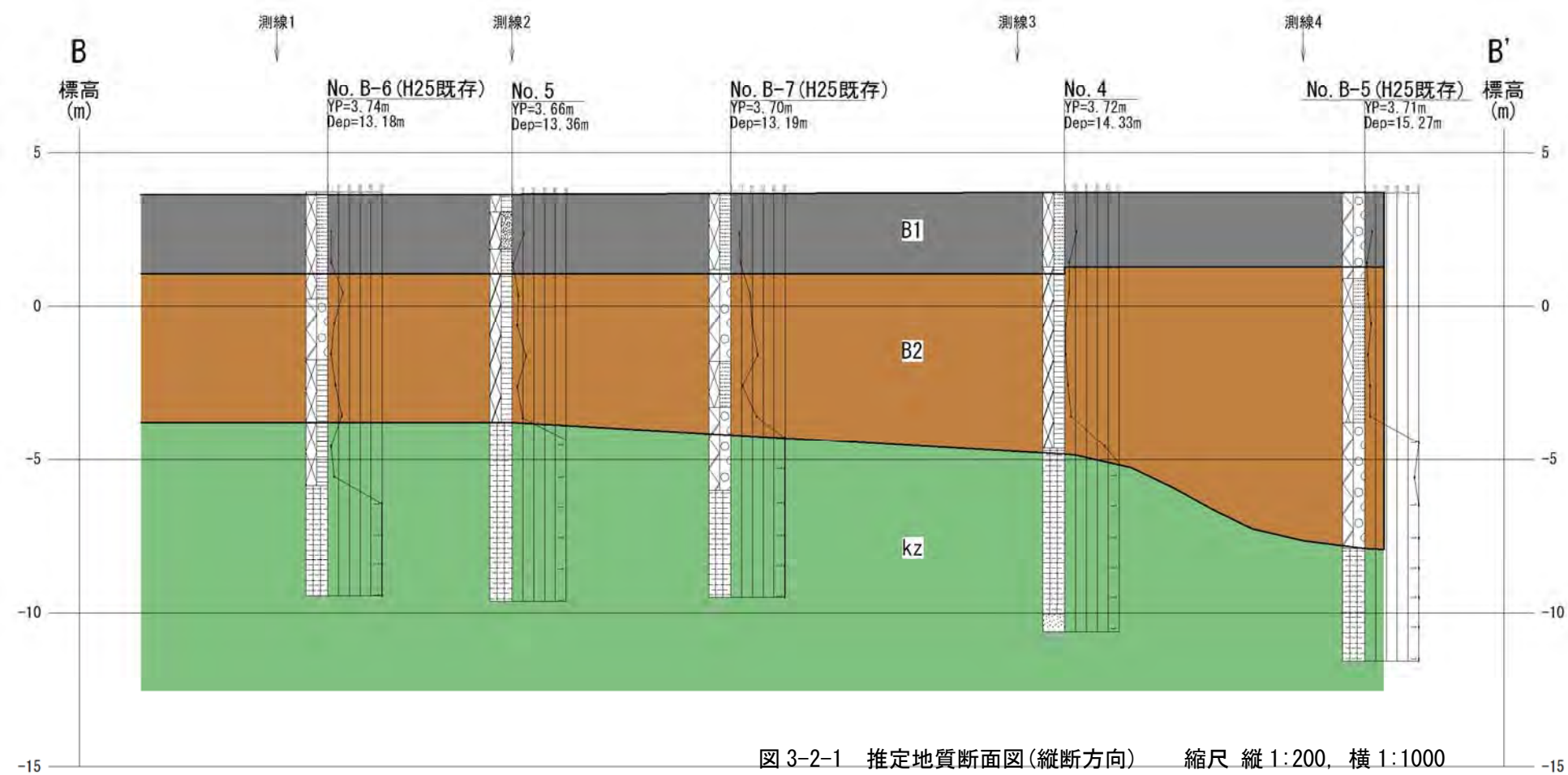


図 3-2-1 推定地質断面図(縦断方向) 縮尺 縦 1:200, 横 1:1000

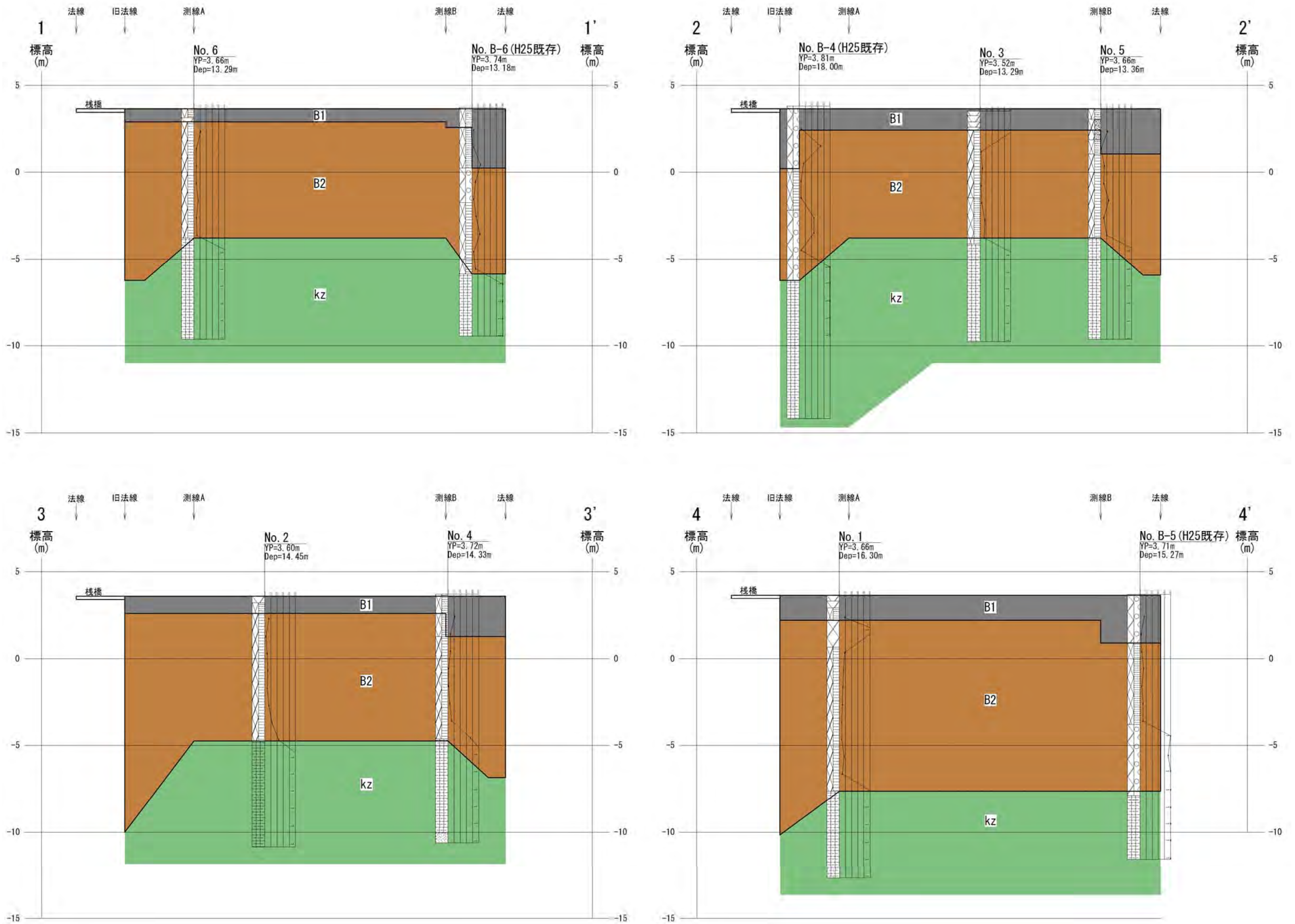


図 3-2-2 推定地質断面図(横断方向) 縮尺 縦 1:200, 横 1:1000



# ボーリング柱状図

調査名 新港ふ頭9号岸壁地質調査業務委託

ボーリングNo. 5 3 3 9 1 5 4 1 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NoB-1	調査位置	横浜市中区新港二丁目5番1号先公有水面	北緯	35° 27' 27.8861"
発注機関	横浜市港湾局建設保全部建設課	調査期間	平成25年11月28日～平成25年12月4日	東経	139° 38' 32.8700"
調査業者名	株式会社 横浜ソイルリサーチ 電話 045-823-0555	主任技師	柳 明	現代理人	柳 明
コ 鑑 定 者	柳 明	ボーリング責任者	山崎 修		
孔口標高	YP -6.42m	角	180° 上 0° 下 0°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総掘進長	20.12m	度	0°	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機 KR-100 エンジン ヤンマーNF90	ハンマー落下用具	半自動型	ポンプ	V-6

標尺	層厚	深 度	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験			原位置試験	試料採取	室 掘 進 月 日				
										深 度	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量				深 度	試 験 名 及 び 結 果	深 度	試 料 番 号
1	-7.92	1.50	1.50	貝殻混じりシルト	暗灰		非常に軟らかい	砂とシルトとの混合土。全体的にφ=3~5mm程の貝殻片を多く混入する。所によって貝殻混り砂となる。		1.15	0/35	0/35							
2				シルト	暗灰		非常に軟らかい	土質的には比較的均質なシルトを主体とする粘性土層であり、全体的に細砂~微細砂などの砂分を混入し砂質シルト~砂混りシルトとなる。		2.15	0/35	0/35							
3										3.15	0/35	0/35							
4										3.50	0/35	0/35							
5	-12.17	4.25	5.75	シルト	暗灰		非常に軟らかい	含水量は非常に多く粘性は中位~やや弱い。 下部では砂分の混入がやや多く、所によってシルト質砂となる。		5.15	0/35	0/35							
6										6.15	4/30	13/30				4.00	1-1	①	11/30
7				細砂	暗灰		中程度	砂粒子は比較的均一な細砂からなり、所によって微細砂を含む。  全体的に少量のシルト分~粘土分を混入し、所によって薄層状のシルトを挟在する。  含水量は非常に多い。 下部へ向かいシルト分~粘土分の含有は少なく均一となる。		6.45	4/30	13/30							
8										8.15	4/30	15/30							
9										9.15	4/30	16/30							
10										10.15	4/30	17/30							
11										11.15	4/30	26/30							
12				礫混じり細砂	暗灰		中程度	砂粒子は均一な細砂からなり、所々にφ=2~5mm程の小礫を点在する。 含水量は非常に多い。		11.45	4/30	26/30							
13										12.15	6/30	21/30							
14										13.15	4/30	17/30							
15	-21.02	8.85	14.60							14.15	4/30	15/30							
16	-22.72	1.70	16.30	泥岩	暗灰		固結した	ほぼ均質かつ硬質なシルト岩~砂質シルト岩からなる泥岩。 所々に半固結状の細砂薄層を挟在する。 ボーリング掘進時にはL=5~10cm程の棒状コアがしばしば採取される。		15.15	6/30	20/30							
17										16.15	8/30	24/30							
18										17.15	39/11	50/11							
19										18.05	50/9	50/9							
20	-26.54	3.82	20.12							18.14	9/9	50/9							
21										19.05	33/17	50/12							
										19.17	2/2	50/12							
										20.05	50/7	50/7							
										20.12	7/7	50/7							

# ボーリング柱状図

調査名 新港ふ頭9号岸壁地質調査業務委託

ボーリングNo. 5 3 3 9 1 5 4 1 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NoB-2	調査位置	横浜市中区新港二丁目5番1号先公有水面	北緯	35° 27' 25.7070"
発注機関	横浜市港湾局建設保全部建設課	調査期間	平成25年10月27日～平成25年11月1日	東経	139° 38' 31.5872"
調査業者名	株式会社 横浜ソイルリサーチ 電話 045-823-0555	主任技師	柳 明	現代理人	柳 明
コ鑑定者	柳 明	ボーリング責任者	大平 祐一		
孔口標高	YP -0.10m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘進長	18.19m	度	0°	向	0° 水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機 KR-100 エンジン ヤンマーNF90	ハンマー	半自動型	ポンプ	V-6

標尺	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験			原位置試験	試料採取	室内	掘
										深	10cm毎の打撃回数	N 値				
m	m	m	図	区	調	密	稠	事		m	0 10 20 30 40 50	m	m	号	法	日
1			○					この柱状図で示すGL-0mは海底面からの土層を表記する。		1.15	9/30					
2			○					地表部の5cmはアスファルト舗装。以深の25cmはコンクリート(棧橋構造物は30cm厚さ)。海水面は棧橋上位面より2.10m。		1.45	6/30					
3			○					海底面は棧橋上位面より3.80mとなる。		2.15	12/30					
4			○					全体的にφ=10~30mm程の溶岩塊~硬砂岩塊~泥岩塊を多く含む不均質な埋土。このため土層的には玉石~玉石混じり砂礫となる。		2.45	24/30					
5			○	埋土(玉石)	暗灰	中ぐらゐ		玉石間は主に貝殻や粒子の不均質な粗砂からなり、所によって3~5cmほどの薄層状の砂質シルト~シルト質砂の挟材が見られる。		3.15	1/30					
6			○					玉石はボーリング掘進時にL=10~20cm程の棒状コアとなり採取される。		3.45	11/30					
7			○					GL-7m付近は硬質な砂岩塊を混入する。		4.15	50/25					
8			○					GL-8m付近は砂礫~礫混じり砂となる。		4.45	5/30					
9			○					GL-9m付近より下位では玉石混入多い。		4.5	50以上					10/28
10	-10.40	10.30	○							8.15	50以上					10/29
11			○							8.45	50以上					10/30
12			○					全体的に比較的均一なシルト岩~砂混じりシルト岩からなる泥岩層であり、所によって非常に密実かつ半固結状の細砂層を挟在する。		9.00	50以上					
13			○					ボーリング掘進時には、L=5~15cm程の良質な棒状コアがしばしば採取される。		10.15	50以上					
14			○	泥岩	暗青灰	固結した		GL-13~14m間は白灰色の砂状軽石を混入する。		10.21	50以上					10/31
15			○					GL-15~17m間は細砂薄層をやや多く挟在する。		11.15	50以上					
16			○					GL-16~18m間では、L=20cm程の棒状コアがしばしば採取される。		11.20	50以上					
17			○							12.15	50以上					
18	-18.29	7.89	○							12.22	50以上					
19		18.19	○							13.15	50以上					
			○							13.28	50以上					
			○							14.15	50以上					
			○							14.26	50以上					
			○							15.15	50以上					
			○							15.23	50以上					
			○							16.15	50以上					
			○							16.21	50以上					
			○							17.15	50以上					
			○							17.21	50以上					
			○							18.15	50以上					
			○							18.19	50以上					



# ボーリング柱状図

調査名 新港ふ頭9号岸壁地質調査業務委託

ボーリングNo. 5 3 3 9 1 5 4 1 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NoB-4	調査位置	横浜市中区新港二丁目5番1号先公有水面	北緯	35° 27' 22.5766"
発注機関	横浜市港湾局建設保全部建設課	調査期間	平成25年11月20日～平成25年11月26日	東経	139° 38' 28.7074"
調査業者名	株式会社 横浜ソイルリサーチ 電話 045-823-0555	主任技師	柳 明	現代理人	柳 明
コ 鑑 定 者	柳 明	ボーリング責任者	幸田貴史		
孔口標高	YP 3.81m	角	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総掘進長	18.00m	度	0°	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機 KR-100 エンジン ヤンマーNF90	ハンマー落下用具	半自動型	ポンプ	V-6

標尺	層厚	深 度	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				N 値	原位置試験		試料採取	室内試験	掘 進 日
										深 度	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	深 度		試 験 名 及 び 結 果	深 度			
1								地表部の5cmはアスファルト。以下0.5mまでコンクリート。		1.15	1	1	3	3					
2				埋土(玉石)	暗灰		中ぐらい	0.5m以深はレンガ片やコンクリート片などのガラを多く混入する不均質な土砂。		1.45									
3								含水量は中位～やや少なく、粘性は弱い。		2.15	15	19	35	35					
4	0.21	3.60	3.60							2.45									
5				埋土(礫混じり粘土)	暗灰		中位	砂質粘土～砂質シルトを主体とする土砂。全体的に不規則にφ50～70mm程の礫を点在する。		3.15	1	3	7	7					
6	-2.19	2.40	6.00					所によって砂を主体とするなど土質的には非常に不均質である。		3.45									
7								含水量は中位であり、粘性は弱い		4.15	1	1	3	3					
8				埋土(玉石)	暗灰		中ぐらい	φ=50～100mm程の棒状コアとなる硬質な砂岩礫～泥岩礫を多く含む不均質な土砂。		4.45									
9								転石間は非常に不均一な砂混り粘土～粘土混り砂からなる。		5.15	1	1	3	3					
10	-6.24	4.05	10.05					含水量が非常に多く、掘進時には孔壁の崩壊が見られる。		5.45									
11										6.30	12	2	10	24					
12								硬質かつ均質なシルト岩～砂質シルト岩からなる泥岩であり、所によって非常に密実な細砂薄層を挟在する。		6.60									
13								ボーリング掘進時にはL=5～10cm程の良質な棒状コアがしばしば採取されるいわゆる軟岩である。		7.15	1	2	21	24					
14				泥岩	暗灰		固結した	GL-13m以深は孔内検層のための余掘り区間である。		7.45									
15										8.15	1	1	3	3					
16										8.45									
17										9.15	1	1	48	50					
18	-14.19	7.95	18.00							9.40			5	25					
19										10.15	50		50	50					
										10.23	8		8	50					
										11.15	36	14	50	50					
										11.28		3	13	50					
										12.15	21	29	50	50					
										12.30		5	15	50					
										13.15	32	18	50	50					
										13.28		3	13	50					

比重水密度三軸

11/25







# ボーリング柱状図

調査名 新港ふ頭9号岸壁地質調査業務委託

ボーリングNo. 5 3 3 9 1 5 4 1 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NoB-7	調査位置	横浜市中区新港二丁目5番1号先公有水面			北緯	35° 27' 21.2825"												
発注機関	横浜市港湾局建設保全部建設課			調査期間	平成25年12月 2日～平成25年12月 3日			東経	139° 38' 33.0155"										
調査業者名	株式会社 横浜ソイルリサーチ 電話 045-823-0555		主任技師	柳 明		現代場人	柳 明		コ鑑定者	柳 明									
ボーリング責任者	幸田 貴史																		
孔口標高	YP 3.70m	角	180° 上 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°		使用機種	試錐機 KR-100 エンジン ヤンマーNF90		ハンマー落下用具	半自動型		ポンプ	V-6	
総掘進長	13.19m																		

標尺	層厚	深	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				N 値	原位置試験		試料採取		掘進
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	深		試験名及び結果	深	試料採取番号	室内試験	
1				埋土(細砂)	暗灰	中ぐらい		地表部の5cmはアスファルト。以下0.6mまでは碎石からなる。粒子のやや均一な細砂からなり、全体的に粘土分～シルト分を混入する。含水量は比較的少ない。	12/3 L40	1.15	2	3	3	8/30					
2	1.20	2.50	2.50							1.45									
3				埋土(玉石)	暗灰	中ぐらい		L=10~15cm程の棒状コアとなるコンクリート片を多く含む不均質な土砂。ガラの間は粘土質砂～砂質粘土により充填されている。含水量は中位であり、ボーリング時には孔壁の崩壊が見られる。GL-5m付近は硬質な砂岩片を点在する。		2.15	3	3	3	9/30					
4										2.45									
5	-1.80	3.00	5.50							3.15	4	7	7	18/30					
6				埋土(細砂)	暗灰	中ぐらい		砂粒子は比較的均一な細砂～微細砂からなり、小礫や粘土分を混入する。含水量は中位～やや多い。		3.45									
7	-3.30	1.50	7.00							4.15	6	7	7	20/30					
8				埋土(玉石)	暗灰	密な		ボーリング掘進時にL=10~15cm程の棒状コアとなる砂岩塊や泥岩塊を多く含む不均質な土砂。岩塊間は非常に不均一な粘土質土砂～砂質土砂からなる。含水量は中位～やや多く、粘性は弱い。		4.45									
9	-6.00	2.70	9.70							5.15	8	7	10	25/30					
10										5.45									
11				泥岩	暗灰	固結した		ほぼ均質かつ硬質なシルト岩～砂質シルト岩からなる泥岩であり、所々に粒子が均一で半固結状の細砂層を挟む。ボーリング掘進時にはL=5~10cm程の良質な棒状コアがしばしば採取されるいわゆる軟岩である。最下部は砂薄層の狭在がやや多い。		6.15	4	4	3	11/30					
12										6.45									
13	-9.49	3.49	13.19							7.15	7	6	11	24/30					
14										7.45									
										8.00	貫入不能			50以上					
										9.00	貫入不能			50以上					
										10.10	50			50以上					
										10.13	3			50以上					
										11.15	50			50以上					
										11.20	5			50以上					
										12.15	50			50以上					
										12.18	3			50以上					
										13.15	50			50以上					
										13.19	4			50以上					





# ボーリング柱状図

調 査 名 新港地区地質調査業務委託

ボーリングNo. 5 3 3 9 1 5 4 1 0 0 0

事 業 ・ 工 事 名

シートNo.

ボーリング名	No.3	調査位置	新港地区	北 緯	35° 27' 22.2000"
発注機関	横浜市港湾局 企画調整部 企画調整課	調査期間	平成27年10月20日～平成27年10月22日	東 経	139° 38' 31.6000"
調査業者名	株式会社横浜ジオレスト 電話 045(290)9699	主任技師	岡部洋	現代理人	松波伸次郎
孔口標高	YP 3.52m	角	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	13.29m	度	鉛直 90°	使用機種	試錐機 KR-100HB エンジン NFD-9
				コ 鑑 定 者	松波伸次郎
				ハンマー 落下用具	半自動型
				ポン プ	GP-5

標 尺	層 厚	深 度	柱 状 図	土 質 区 分	色 相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験		試料採取		室 掘 進 月 日
										深 度	10cm毎の 打撃回数	打撃回数/貫入量	深 度		試 験 名 及 び 結 果	深 度	採 取 方 法		
1	3.27 2.92 2.62 2.42	0.25 0.35 0.30 0.20	0.25 0.60 0.90 1.10	埋土 埋土 埋土 埋土	褐灰 赤茶		7スラット(下部欠状) 上部敷石(t=0.15m)以下礫質土 レンガ片 非常に硬質なコンクリート 4'イモンドビット使用			1.00 1.01	60 1	60 1	50以上					10/20	
2				埋土(シルト)	黄褐	軟	砂質シルト主体 全体に土丹くず(塊)を多量に混入 3.6m付近よりφ50mm以下の礫点在 4~4.35m付近、貝殻片を混入する 砂を挟在 含水は中位~やや多く、砂は多い 全量逸水する		10/21 2.30	2.15 2.50 3.15 3.45 4.15 4.45	1 1 2 1 1 1	2 15 4 30 2 30	2 4 2 2						
5	-1.48	3.90	5.00	埋土(砂質土)	暗灰	緩	砂質土主体 全体に土丹くず(塊)、貝殻細片を 混入 6m付近まで全量逸水する			5.15 5.45 6.15 6.45 7.15 7.45	1 1 2 3 2 3	1 1 3 8 7 30	3 8 7						
8				固結シルト	暗灰	固結	含水少位 粒状の白色軽石散在 12m付近、13m付近、砂を挟在			8.15 8.44 9.15 9.45 10.15 10.33 11.15 11.31 12.15 12.30 13.15 13.29	13 14 14 25 25 31 31 35 35 37 4	15 18 35 18 29 16 29 15 23 14	60 52 52 50以上 50以上 50以上 50以上 50以上					10/21 10/22	





# ボーリング柱状図

調査名 新港地区地質調査業務委託

ボーリングNo. 5 3 3 9 1 5 4 1 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.5	調査位置	新港地区	北緯	35° 27' 20.4000"
発注機関	横浜市港湾局 企画調整部 企画調整課	調査期間	平成27年12月16日～平成27年12月18日	東経	139° 38' 31.7000"
調査業者名	株式会社横浜ジオレスト 電話 045(290)9699	主任技師	岡部洋	現代理人	松波伸次朗
孔口標高	YP 3.66m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘進長	13.36m	度	0°	向	鉛直 90° 水平 0°
試験機	KR-100HB	ハンマー	落下用具	ポンプ	半自動型
エンジン	EA-11	試験機	ハンマー	ポンプ	V-5

標尺	層厚	深度	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		掘進
											深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N	深	試験名及び結果	深	試料採取方法	
3.06	0.60	0.60	埋土(砂質土)	暗黄褐				0.20m付近まで7mm以下、砂質土主体、30mm以下の礫を混入		12/16 2.20	1.15	3	3	5	11				
1.86	1.20	1.80	埋土(礫)	暗黄灰	中位			礫質土主体、20~100mm程の礫を混入、1m付近、含水非常に多い			1.45								
1.06	0.80	2.60	埋土(砂質土)	暗褐灰	極緩			砂質土主体、全体に土丹くずや30mm以下の礫など混入			2.15	1		1	30				
			埋土(シルト)	暗黄褐				シルト主体、全体に土丹くず(塊)を多量に混入し、不規則に砂を混入、6.5m付近、50mm程の礫混入、7m付近、貝殻細片混入、含水中位、6m付近よりやや多い			2.45								
				暗黄褐							3.15	2	2	2	6				
				暗黄褐							3.45								
				暗灰							4.15	1	1	3	5				
				暗灰							4.45								
				暗灰							5.15	4	4	5	13				
				暗灰							5.45								
				暗灰							6.15	1	2	2	5				
				暗灰							6.45								
				暗灰							7.15	2	4	4	10				
				暗灰							7.45								
				暗灰							8.15	60			60				
				暗灰							8.25				10				
				暗灰							9.15	40	20		60				
				暗灰							9.32		7		17				
				暗灰							10.15	47	13		60				
				暗灰							10.27		2		12				
				暗灰							11.15	60			60				
				暗灰							11.25				10				
				暗灰							12.15	35	25		60				
				暗灰							12.33		8		18				
				暗灰							13.15	17	37	6	60				
				暗灰							13.36		1		21				

